

第27号

J A長野厚生連 安曇総合病院

連携室だより

編集発行 地域医療連携課

発行日：2009/10/1
発行責任者 中川 真一

北安曇郡池田町大字池田3207番地1
直通電話：0261-61-1455
直通fax：0261-61-1456



【高瀬川高瀬橋（安曇野市・池田町）】

新型インフルエンザの流行拡大に備えての感染対策は、各医療機関において注意を払いながら行われていることと思います。当院におきましても、患者さんや来院者に対しマスク・手洗い・うがいの啓発とお見舞い制限をしています。10月にピークを迎えることが予想されていますが、どうなることやら気をもみます。

★病院祭開催

恒例になりました病院祭ですが、新型インフルエンザのまん延などを考慮し規模を縮小して下記のとおり開催いたします。後日、ご案内状・プログラムをお送りする予定です。

▽期日：平成21年10月18日（日）9：30から

▽場所：池田町公民館およびメンタルケアセンターあずみ

連携登録医師インタビュー

今回は、西森安彦先生（北安曇郡松川村）を訪問しました。整形外科医として幅広く診療を担当しているとのことです。

（聞き手・地域医療連携課山崎）

高知県

— 午前の診療の後、お疲れのところおじやまします。先生はこちらに開業されてどのくらいになりますか。

西森 平成12年1月18日に開業したので、今度の1月で10年になります。安曇野で開業したいと願っていた、松川村の、この地を選びました。ちようど川を挟んで安曇総合病院があるのも良かったです。（笑）

— 出身もこちらですか。

西森 高知県の西にある須崎市出身で、高校卒業・大学浪人まで過ごしま



西森安彦先生プロフィール
昭和31年生
昭和59年信大医卒
専門は整形外科

した。信州大学進学を期に長野県へ来ました。在学中は、弓道部に所属し安曇総合病院の小林克先生にいろいろとお世話になりました。

青年海外協力隊

— 医者になろうと思われたのは何きっかけですか。

西森 農家の家系で育ったので、自分ではずっと農業系の技術指導員になることを考えていました。資格を生かして青年海外協力隊員になりたいとも思っていました。ところが浪人中に、高校時代経験した祖父の癌死を思い出し、医者を目指すことにしました。

お世話になり

— 整形外科を選ばれたきっかけは何でしたか。

西森 初めは、腹部外科医になること志望していましたので、卒業したら高知県へ戻り高知の大病院で研修をする予定でした。ところが、卒業式を目前に交通事故をして、信大病院の整形外科に入院することになりました。入院中に、整形外科の先輩医師などから熱心に（強烈に）整形外科医を勧められ、お世話になったお礼のような形で信大整形外科に入局しました。県内の病院を数多く研修させていただき、逆に大病院での勤務が短かったため、これといった専門は持ち合わせていません。ですので、広く浅く患者さんを診させていただいています。困ったら安曇

西森整形外科 ご紹介

所在地：北安曇郡松川村
東川原5721-125
電話：0261-61-1700
電標：整形外科
リハビリテーション科
診療日：月～土曜日
（木曜日・土曜日は午前のみ）

総合病院にお願いしています。（笑）
5人

— 開業されてますとお休みが少なく苦労されていると思いますが、余暇はどのように過ごされていますか。

西森 以前は、ドライブしたり囲碁を打ったりしましたが、最近はゴルフがぶらぶらとしています。

— ご家族のことをお聞きしてもよろしいですか。

西森 なんと、この少子化時代に子どもが5人います。上が22歳で下は15歳。女の子3人と男の子2人です。上の子2人は県外に行っています。のいまは妻と子ども3人の5人で暮らしています。家に子どもが5人いたときは、それはもうにぎやかで、うるさいくらいでしたね。

— にぎやかな光景が眼に浮かびますね。先生には連携パスなどでお世話になっていきます。今後も病診連携をお願いいたします。本日はありがとうございます。

…病院行事から…

老人性認知症を考える講演会

9月4日、当院の老人性認知症センターと池田町、大北地区認知症高齢者対策・高齢者虐待防止県民運動推進機関連絡協議会が主催し、認知症の理解と啓発を目的に池田町公民館で開催しました。「老年期のこころを支えるために～高齢者の心理ケアについて考える～」をテーマに慶成会老年学研究所所長松澤広和先生の講演は、先生が臨床心理士として認知症の方と接している実践から苦勞やアドバイスがあり今後の参考になりました。プレシャスプレシャスによるゴスペル合唱で会場の緊張がなごみ、平日にも関わらず医療・福祉関係者及び住民約310人の参加で会場は熱気に包まれました。

医療安全講演会

9月11日、本年度1回目の講演会を当院外来棟1階ホールで開催しました。「皆さんにぜひ知っていただきたいこと」と題し、自治医科大学医療安全対策部長谷川剛先生から講演いただきました。完全な安全は無いのキーワードから講演が始まり、患者安全の定義、エラーマネジメントの対策、医療の質管理、医療紛争対応の問題などについてスライドとビデオでユーモアを交えながらわかりやすくお話いただきました。やっぱりといたしますか、患者さんとのコミュニケーションが重要であることを終末期患者さんとのエピソードを紹介しながら訴えておりました。2回目は下半期に開催予定です。

第1回安曇総合病院病薬連携懇話会

9月17日、地元薬剤師会との連携を深めるため第1回安曇総合病院病薬連携懇話会を開催しました。当院は、平成9年から処方箋を原則院外へ切り替え、現在では94-95%の発行率となっています。今回は、精神科分野の処方についての疑問などを薬剤師会員から事前にいただき、それに沿った回答を当院の丸山之子薬剤師、村石真木子ソーシャルワーカー、古田康精神科医師、中村伸治精神科医長、村田志保副院長がスライドを交え行ないました。大北薬剤師会・安曇野市薬剤師会・当院から41名参加があり質疑も活発に行なわれ連携が深まったと感じました。今後は、年2回を目標に開催する予定です。診療所・病院との連携推進はもちろんですが、地域の他の医療・福祉関係者（関係機関）との連携も密にしたいものです。

***当院の開催する行事のうち、院外の関係者や連携登録医の皆さんが参加可能な会につきましてはご案内をさせていただいてます。お時間・ご都合がございましたらご遠慮なくご参加ください。**

新型インフルエンザについて

10月に流行のピークが予想されていますが、長野県病院協議会に報告している当院の状況の概要をお知らせします。（期間は8/1から9/26までの分です。）

①インフルエンザ抗原検査実施数	198
②①の内「A+」の数	10
③インフルエンザ患者入院数	0
④簡易検査キット	充足
⑤抗インフルエンザ薬	タミフル充足 / リンザ [®] 充足

当院ではまだまだ「A+」の数は少なく、流行に至っておりません。

第28回安曇総合病院地域連携懇話会

9月14日に行われました、安曇総合病院地域連携懇話会運営委員会におきまして、下記のとおり開催することにいたしました。ご都合お差し繰りのうえ、大勢の皆様のご出席をおねがいします。

記

- ★開催日時 平成21年11月17日（火）18時30分から
- ★場 所 安曇総合病院外来棟2階会議室
- ★内 容 1) 講演「P S A高値症例の取り扱いと前立腺肥大症の実際」
講師 安曇総合病院泌尿器科部長 平林直樹 先生
- 2) ディスカッション
 - ①合同カンファレンス（地域連携パス）
大腿骨頸部骨折・脳卒中
 - ②その他・フリーディスカッション



表紙の写真/安曇野市側から撮影。現在の橋は平成12年5月29日完成。欄干には、しゃくなげとラベンダーのレリーフが配置されています。
(2009.10)

●放射線カンファレンス（二水会）開催のお知らせ

11月11日（水）19：00から安曇総合病院外来棟3階健康管理室で行います。気になる症例などありましたらお持ちよりください。

患者さんのご紹介等診療情報に関するお問い合わせ・ご要望は地域医療連携課で承っています。

電話 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

E-mail: az-gyomu@janis.or.jp

受付時間 平日 8時30分～17時
土曜日 8時30分～12時30分（第2・4・5は休み）